

自立活動応援十ビ



高知県教育センター

研究生 松下由美子
指導主事 和田 具子

もくじ

(自立活動応援ナビは、1～4の手順に沿って、自立活動の授業が充実するよう応援します)

1 児童生徒の実態把握

- ❖ 行動観察カード 1
 - 行動観察カード 記入例 2
 - 行動分析 3

2 児童生徒の課題（優先課題）

- ❖ 自立活動チェック表 4
 - 自立活動チェック表 記入例 5
 - 特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編を読みましょう 6

3 自立活動の指導計画

- ❖ 自立活動の指導計画表 7
 - 自立活動の指導計画表 記入例 8

4 自立活動の授業

- ❖ 学習指導略案事例 9
- ❖ 教材教具一覧表（活用事例） 21
 - 課題別 具体的指導内容（自立活動の区分、項目）事例 24
 - 支援カード 31

参考資料

- 手順表 32
- カード 39
- 遊びのルール 55
- 個別の指導計画 60
 - 個別の指導計画 記入例 61



1 児童生徒の実態把握

行動観察カード

❖ 行動観察カード

いつ (授業中、休み時間等)	場や周囲の状況 (具体的に)	児童生徒の気にな る行動	どのような対応を したか(具体的に)	児童生徒の反応
月 日				

・どのような場面において、児童生徒の気になる行動がみられるか？

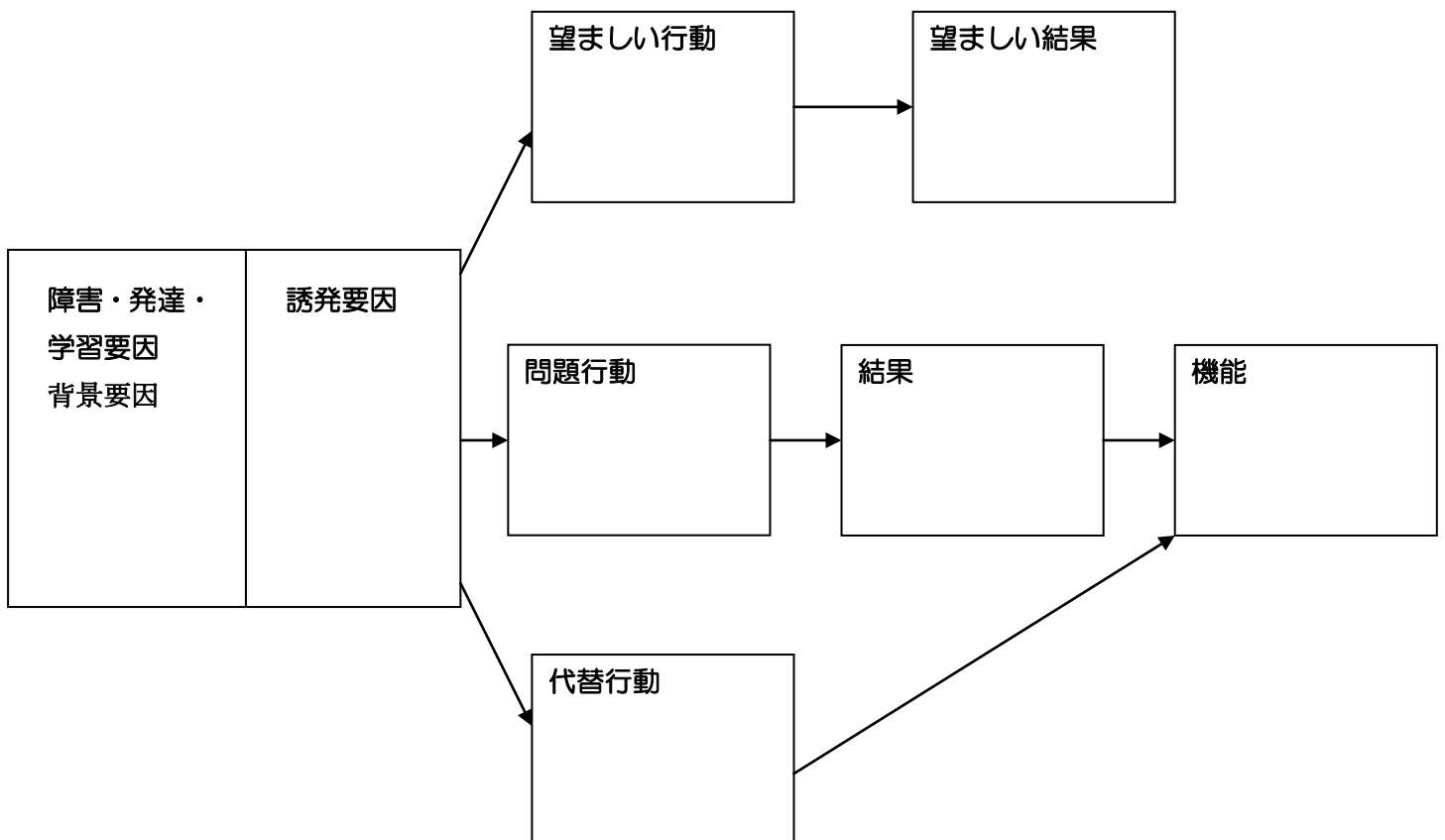
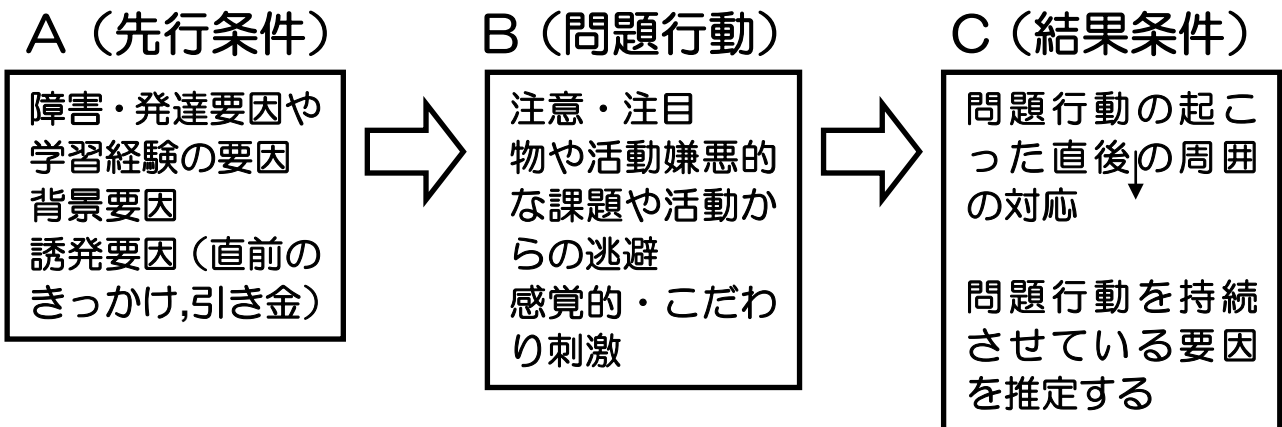
・行動からどのような背景がみられるか？

いつ (授業中、休み時間等)	場や周囲の状況 (具体的に)	児童生徒の気になる行動	どのような対応をしたか (具体的に)	児童生徒の反応
5月10日 3校時の 始まりの チャイムが なった時	雨が降ってきたため、 体育は、運動場から体育館にかわる 。交流学級のみんなは、移動のため、廊下に並んでいた。	着替えもしないで泣き、叫んでいる	普通の体育では、並んで参加できているのにも思いついて、「はやくしなさい」といつもの言い方で支援学級の担任が声をかけた。	担任の声に耳を傾けず、その後泣き続けて、体育に参加できなかった。
5月10日 の掃除の 始まりの 時	掃除が始まり、みんなは一生懸命掃除をしていた。本見にとっては、 前の掃除場所 で、他の子がこじやないと教える。	掃除をしないで泣き、叫んでいる。	「早くいきや」と周りの児童に注意される。	注意されると、余計に動けずに泣き続けて、掃除をしなかった。
5月11日 朝の集会 へ行く時	朝の集会が 月曜日と火曜日と入れ替わり 、集会に交流学級のみんなと廊下に並ぶ場面	教室で動かず泣いている。	支援学級の担任が「はやく並びなさい」と急いで声をかけた。	教室の床の隅に座って、泣いたまま顔をあげず、集会には参加できなかった。

- ・ どのような場面において、児童生徒の気になる行動がみられるか？
- ・ 行動からどのような背景がみられるか？

行動分析

行動を分析する際には、その行動が起こりやすい条件(先行条件)と習慣化・持続化しやすい条件(結果条件)を中心にアセスメントを行ないます。その行動が望ましいものにせよ、不適切なものにせよ、全てが行動原理によって成立していると考えます。このようなアセスメントと分析の結果から、先行条件や結果条件を明らかにすることで、望ましい行動をより起こりやすく、または不適切な行動が起こりにくくすることが可能となります。



応用行動分析の考え方と方法より

参考：上越教育大学 加藤 哲文教授

2 児童生徒の課題(優先課題)

自立活動チェック表

❖ 自立活動チェック表

学年・氏名 () ◎特に必要 ○必要

区分	項目	/
1健康の保持 生命を維持し、日常生活を行うために必要な身体の健康状態の維持・改善を図る観点。	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。	
	(2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事。	
	(3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事。	
	(4) 健康状態の維持・改善に関する事。	
2心理的な安定 自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る観点。	(1) 情緒の安定に関する事。	
	(2) 状況の理解と変化への対応に関する事。	
	(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。	
3人間関係の形成 自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う観点。	(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。	
	(2) 他者の意図や感情の理解に関する事。	
	(3) 自己の理解と行動の調整に関する事。	
	(4) 集団への参加の基礎に関する事。	
4環境の把握 感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする観点。	(1) 保有する感覚の活用に関する事。	
	(2) 感覚や認知の特性への対応に関する事。	
	(3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。	
	(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関する事。	
	(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。	
5身体の動き 日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする観点。	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。	
	(2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。	
	(3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。	
	(4) 身体の移動能力に関する事。	
	(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。	
6コミュニケーション 場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする観点。	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。	
	(2) 言語の受容と表出に関する事。	
	(3) 言語の形成と活用に関する事。	
	(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。	
	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。	

自立活動チェック表 記入例

特別支援学校学習指導要領

自立活動編 参照

学年・氏名 () ◎特に必要 ○必要

日付を記入して
おきましょう。

区分	項目	/
1健康の保持 生命を維持し、日常生活を行うために必要な身体の健康状態の維持・改善を図る観点。	(1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事。	
	(2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事。	
	(3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事。	◎、○をつけてし
	(4) 健康状態の維持・改善に関する事。	ぼっていきます。
2心理的な安定 自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る観点。	(1) 情緒の安定に関する事。	
	(2) 状況の理解と変化への対応に関する事。	
	(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事。	
3人間関係の形成 自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を培う観点。	(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。	
	(2) 他者の意図や感情の理解に関する事。	
	(3) 自己の理解と行動の調整に関する事。	
	(4) 集団への参加の基礎に関する事。	
4環境の把握 感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できるようにする観点。	(1) 保有する感覚の活用に関する事。	
	(2) 感覚や認知の特性への対応に関する事。	
	(3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事。	
	(4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関する事。	
	(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。	
5身体の動き 日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができるようにする観点。	(1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事。	
	(2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事。	
	(3) 日常生活に必要な基本動作に関する事。	
	(4) 身体の移動能力に関する事。	
	(5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事。	
6コミュニケーション 場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができるようにする観点。	(1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事。	
	(2) 言語の受容と表出に関する事。	
	(3) 言語の形成と活用に関する事。	
	(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事。	
	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。	

優先順位を決めましょう。

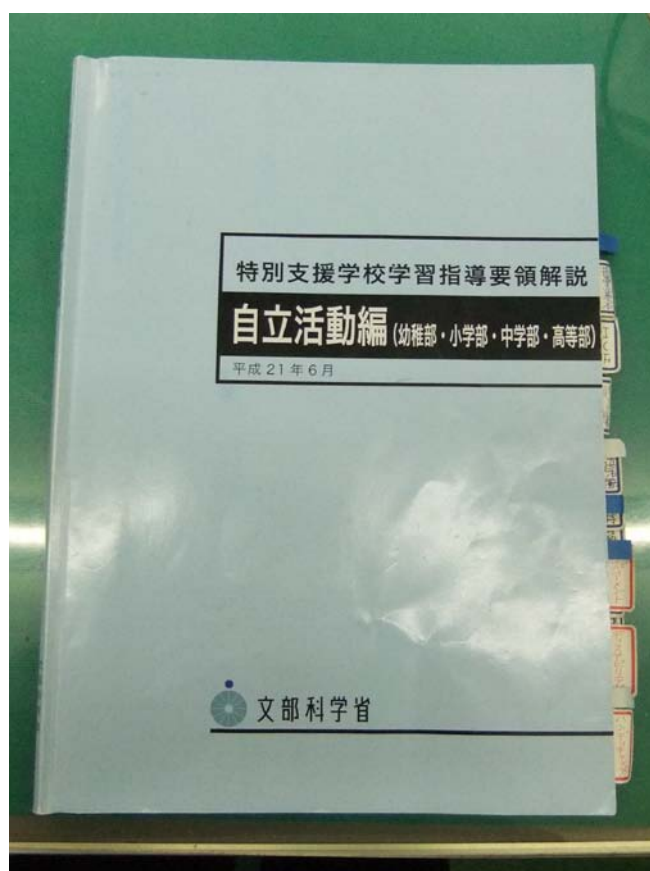
- ・優先課題の決定は、児童生徒の将来の生活を見通して、現在何が必要か。
- ・一定期間の指導によって目標が達成できる可能性があるか。
- ・今、指導することが必要かを考慮する。

特別支援学校学習指導要領解説

自立活動編

平成21年6月 文部科学省

※読んでみましょう。



3 自立活動の指導計画

自立活動の指導計画表

❖ 自立活動の指導計画表

自立活動の指導計画表

学年・氏名		作成日						月	日
長期目標		児童生徒の実態	短期目標	区分項目	指導内容・指導方法	時数	評価		
自立活動の区分									
健康の保持									
心理的な安定									
人間関係の形成									
環境の把握									
身体の動き									
コミュニケーション									
その他									

自立活動の指導計画表 記入例

自立活動の指導計画表

学年・氏名		作成日		月 日		
長期目標						
自立活動の区分	児童生徒の実態	短期目標	区分項目	指導内容・指導方法	時数	評価
心理的な安定	相手に自分の気持ちを伝えることが苦手である	泣く、叫ぶ時間を短くすることができる	2-(2)	泣く、叫ぶ時間を決める その後、お茶を飲む その後、本を読む その後、カードで気持ちを知らせる 方法を選び、練習する	8	泣く、叫ぶ時間を短くすることができたか
	初めてのことに不安がある	地震を知る	2-(1)	新聞の切抜きやDVD等で地震について学習し、避難の仕方を練習する	2	地震を知ることができたか
環境の把握	場所が変わると不安になる	場所が変わった場合の、にげ方を知る	4-(4)	場所を想定して練習する 教室 トイレ 運動場 一人になった時	3	場所が変わった場合の、にげ方がわかったか
	見通しがもてないと不安になる	不安になったらサインを出すことができる	6-(4)	サインを決める どんなときに出すのか練習する	5	決めたサインを出すことができたか
コミュニケーション						

4 自立活動の授業

学習指導略案事例

教材教具一覧表

1. 題材名 「とつても いいきもち」

2. 題材について

○児童観

本学級の児童は、喘息とアトピー性皮膚炎を併せ持つ男子1名である。普段は元気で明るく友だちといっしょに遊ぶことも増えてきている。しかし、季節の変わり目や、身体が疲れてくると喘息が出て吸入をしなければいけない状態になる。また、梅雨時期から汗をかく夏になると、特にアトピー性皮膚炎が広がり、かきすぎて血が出てしまうほどになる。このように、身体の状態から集中することができなくなることもあり、途中でいやになったり、乱暴な言葉づかいになったりするなど、情緒が不安定になることが多い。児童は、これまでに体操服や水着に着替える活動をしてきている。衣服をまるめて袋に入れることをしていたが、たたむ練習をする中で脱ぎ方がよければ、たたむことも簡単にできる。二枚まとめて脱いだりするとたたむときに大変になることにも気づくようになってきたところである。

○題材観

児童の健康状態が、学習や活動に大きく影響してくる。児童が気持ちよく心も身体も元気に過ごすことができるように、児童の課題に応じた活動の流れを手順を追って示す。その手順を理解し、自分のことが自分でできるようにこの題材を設定した。

○指導観

自分の気持ちや感情をコントロールすることが難しい児童の背景には、生活環境などの様々な要因が、心理面に大きく関与していると考えられる。身体の状態を見ると、毎日の入浴と薬を塗ることが必要と思われるが、家庭の事情もあり習慣化されていない。そのため、学校でシャワーを利用し、ぬるま湯で専用石鹸を使い丁寧に身体を洗い、病院から出された薬を塗るといったケアをするようにした。そして、学年の進級を機会に本人が自分でやらなければいけないという気持ちにもっていった。衣服の着脱・衣服のたたみ方・身体を洗う・頭を洗う・流す・片付ける・薬を塗る等は、本人にとっては人の手を借りたところもあるようだが、できることから取り組むようにした。見通しを持って活動できるように、手順表を作った。一つひとつの活動については、児童の課題に応じた評価をし、段階をおって意識を高めていきたいと考える。また、身体が気持ちよくなった後に、5分間本の読み聞かせをする。気持ちをリラックスさせることを最優先し、その後落ち着いて学習し、集団への参加ができるようにする。

※活動を早くしていくことを目標に、本の読み聞かせを5分間から10分間と長くしていきたいと考える。

○自立活動の区分、項目

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 1. 健康の保持 | (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること |
| 2. 心理的な安定 | (1) 情緒の安定に関すること |

3. 児童の実態

身体の状態から集中することができなくなることがあるが、身体の状態を良くすることで、活動の幅も広がり、自分のやりたいことに集中できると考えられる。自分でできることは自分でやるとと、助けてほしい時はそばにいる人をお願いできる練習を重ねているところである。

4. 題材の目標

○生活のリズムや生活習慣の形成、心理的な安定の基礎的な態度や知識を養う。

- ・日常生活を行うために必要な身体の状態を維持できるようにする。
- ・自分でできることは自分でやる。

5. 指導計画（全10時間）

- 第1次 からだについての紙芝居・・・・・・・・・・1時間
- 第2次 衣服の着脱・たたみ方・・・・・・・・・・2時間
- 第3次 シャワーの使い方・カーテンを閉める・・1時間
- 第4次 洗いかた・片付け方・・・・・・・・・・1時間
- 第5次 薬の塗り方・読み聞かせの聞き方・・・・1時間
- 第6次 一連の流れ・読み聞かせ・・・・・・・・・・4時間 本時（1/4）

6. 学習の展開

(1) 目標

- ・身体の状態を気持ちよくするために、自分でできることは自分でする。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点○課題◎支援	評価
導入	1. はじまりのあいさつをする。 2. 本時の活動を知る。 3. めあてを確認する。	◎前時の学習を想起させる。 ・手順カードの確認をする。 ・上手になってきたことをほめる。 ◎児童がやる気になる雰囲気を作る。	
	いいきもちになろう		
展開	4. 準備をする。 ○衣服をたたむ ○カーテンを閉める ○頭をあらう ○身体をあらう ○タオルでふく ○薬をつける ○着替える ○片付ける 5. がんばりカードにシールを貼る。	○カーテンを閉めることの意味を考えながらカーテンを使う。 ・かくす ・シャワーのお湯が飛び散らないように ◎きちんと身体がふけていないと薬をつけることができないことに気づかせる。 ◎とどかない箇所の薬をぬる手助けをする。 ○後で使う人のことを考えて片付ける。 ◎児童のがんばりを称賛する。	カーテンを閉めることについて意識ができていないか。 手順にそって活動ができたか。 自分のがんばりが評価できているか。
まとめ	6. 本のお話を聞く。（5分間） 7. おわりのあいさつをする。	○お話を聞くためには、5分前には活動の全てを終わらせる。 ◎児童の興味ある本を選んで聞かせる。	タイマーを見て活動することができたか。

1. 題材名 「家系図をつくろう」

2. 題材について

○児童観

本学級は、3年男子1名、4年男子1名の計2名の児童が在籍している。二人とも明るく、外で元気に遊ぶことができる。しかし、掃除などの縦割り班での活動の中で、高学年の班長にも横柄な態度や話し方になってしまい、誤解を受けやすい。どの範囲の人に、どの程度親しげに話をしたらいいのか、わかりにくい実態がある。そのため、国語科や道徳などの学習でも取り上げて学習してきている。

○題材観

児童たちにとって身近な存在である「サザエさん」の磯野家の家系図を用いて、家族関係についての理解を深め、身近な人とかかわるために必要な知識、技能、態度を養うためにこの題材を設定した。

○指導観

家族関係を図で表し、視覚的にまとめることで、父方の親戚と母方の親戚があることを知ったり、いとこということばを知ったり、おばさんが母親の姉なのか、妹なのかわかりやすくなる。また、身近な人たちとの対人距離についても考え、それによって話し方を変える必要性など具体的に事例を出し合いながら自己認知スキルを身につけさせたい。

家系図の仕上がりもそれぞれが工夫し完成度の高いものになるよう、必要なところで支援し、満足感の得られるものになってほしい。

○自立活動の区分、項目

3	人間関係の形成	(1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
4	環境の把握	(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事。
6	コミュニケーション	(5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事。

3. 児童の実態

Aくん 言葉不足のために相手に不愉快な思いをさせてしまうことがある。身近な人とのやり取りの中で、一つ一つ練習中である。

Bくん 誰に対しても、かかわり方や話し方が同じで、誤解をまねくことがあり、場を設定しながらいていねいな話し方や言い方ができるように練習中である。

4. 題材の目標

○身近な人との親密な関係を築き、その信頼関係を基盤としながら、周囲の人とのやりとりを広げる。

- ・ 家族から少し進んだ親族関係を知る。
- ・ 人に興味・関心を持つ。

5. 指導計画（全5時間）

- 第1次 磯野家の家系図を見て家族構成について知る・・・・・・・・・・ 1時間
- 第2次 家から調べてきたこと、写真を分類する・・・・・・・・・・ 1時間
- 第3次 似顔絵やデータをまとめる・・・・・・・・・・ 1時間
- 第4次 写真や似顔絵、データを模造紙にまとめ家系図をつくる・・・・・・・・ 1時間
- 第5次 自分や家族を紹介する・・・・・・・・・・ 1時間（本時）

6. 本時の学習

(1) 目標

- ・できた家系図をつかって、自分や家族を紹介する。

(2) 本時に関する児童の実態及び個別の目標と手立て

名 性別 学年	本時に関する実態	個別の目標	手立て
A男 3年	言葉が足らず、相手に自分の気持ちをわかってもらいにくい。その場の状況を見て判断することが難しい。	いろいろな話し方を練習し、自分の気持ちを相手に伝えることができる。	最後まで自分のことばで伝えられるように、必要ならば手順表を提示し、達成感につなげる。
B男 4年	ていねいな言い方ではないために、誤解を招くようなことが多くある。	友だちや身近な人にわからないときは、聞いて教えてもらうことができる。	活動を通してわからないことを聞く場の設定をし、聞かれたことについてはその場で答えていくようにする。

(3) 展開

	学習活動	準備物（教材教具）	◎教師の支援 ○評価
導入	1. はじまりのあいさつをする。 2. 本時の活動を知る。 3. めあてを確認する。 自分やかぞくを しょうかいしよう	・磯野家 家系図	◎磯野家の家系図を使って、簡単に発表の仕方について説明する。 ◎二人の家系図が素敵にできていることに少しふれる。 ◎やってみようという気持ちになるような声かけをする。
展開	4. 家系図をつかって自分や家族を紹介する。 ・自分 ・兄弟 ・父、父方の親戚 ・母、母方の親戚 5. 質問コーナーでは答えられる範囲で質問に答える。 6. 身近な人たちとのかかわり方や、友だちとのかかわり方を知る。	・模造紙（自分の家の家系図） ・写真 ・似顔絵 ・データ ・手順表 ・カード しつもん してもいいですか。 いいですよ。 ・話し方カード ・ふきだし	◎順をおって説明できるように必要に応じて手順表を提示する。 ○家系図が使えていたか ○自分や家族を紹介できたか ◎いろいろな人との話し方を考え、わかりにくい場合は、話し方カード（事例）より選択して練習できるようにする。
まとめ	7. 終わりのあいさつをする		◎話し方が上手になってきたことをほめて励ます。

1. 題材名 「こんなとき どうすればいいの」

2. 題材について

○児童観

本学級では、3年女子1名、男子1名、6年女子1名計3名の児童が在籍している。他者とのかわりについては、それぞれ仲のいい友だちとかかわり合って遊ぶことができる。自分の思っていることも随分と伝えられるようになってきた。3年のAさんとBくんは、遊びのルールが分からないこともあり、遊びの途中でいなくなったりするため、友だちとのすれ違いの原因となることがある。6年のCさんは、交流学級での活動で作品などを協力して仕上げるときなどに、上手にきれいに仕上げたい思いが強く、友だちと協働しにくい原因となることがある。

○題材観

初めてのことに對して、抵抗のある子どもでもあるため、事前に活動を体験しておくことで、安心して、初めてのことや、学校全体の行事にも参加することができると思われる。また、急な予定の変更などの心構えや対応のしかたについてのスキルを身に付けさせる。

○指導観

簡単なことば指示や具体物を示すと理解できるため、具体的な場面を設定して、児童が分かりやすい言葉がけをしていきたい。課題に取り組む際の、はじめのあいさつや、机や椅子の準備等ではできるだけ児童が取り組むようにする。自ら環境を整えたり周りの人に支援を求めたりする機会を設け、人とかかわることができる活動を取り入れ、相手の気持ちを理解したり接し方等のコミュニケーションスキルの獲得と向上をめざしていきたい。

○自立活動の区分、項目

2	心理的な安定	(2) 状況の理解と変化への対応に関すること。
6	コミュニケーション	(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること

3. 児童の実態

- Aさん 不安なことや苦手なことが多くなると、トイレに行く回数が増える。
- Bくん 不安なことや苦手なことが多くなると、態度が変わり暴言を吐く。
- Cさん 不安なことや苦手なことが多くなると、感情のコントロールができにくくなる。

4. 題材の目標

- 周囲の状況を把握できる基礎的な態度や知識を養う。
 - ・ 少人数での活動を通して、気持ちの伝え方を知り、約束の理解などに対する態度を身に付ける。
 - ・ 急な予定の変更などに対応できるスキルを身に付ける。

5. 指導計画（全5時間）

- 第1次 できごとをふりかえる・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- 第2次 約束を考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- 第3次 カードを使い、ロールプレイをする・・・・・・・・・・ 1時間（本時）
- 第4次 ふりかえる・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

6. 学習の展開

(1) 目標

- ・ 「こんなときにどうしたらいいのか」カードを使って考える。
- ・ 友だちの考えを聞く。

(2) 本時に関する児童の実態及び個別の目標と手立て

名 性別 学年	本時に関する実態	個別の目標	手立て
A女3年	ことばだけでの説明は理解しにくい。自分で考えて行動するより、周りの様子を見て行動することで安心感を得ている。	教師や友達の動きを見て状況を理解する。	絵や写真を提示する。 友だちの活動の様子を見せる。 シールポイントで評価する。
B男3年	ことばだけでの説明は理解しにくい。自分で考えて行動するより、周りの様子を見て行動することで安心感を得ている。	教師や友だちの見て様子がわかる。	絵や写真を提示する。 友だちの活動の様子を見せる。 シールポイントで評価する。
C女6年	正義感が強く、まちがうことが苦手。面倒見がよく、下の学年の友だちからも慕われている。	自分の表現方法で、ふきだしのことばを見つける。	前時を想起させ、自発的な考えが出ない場合は、ヒントカードより選択させる。マークで評価する。

(3) 展開

	学習活動	準備物 (教材教具)	◎教師の支援 ○評価
導入	1. はじまりのあいさつをする。 2. 本時の活動を知る。 3. めあてを確認する。	・挿し絵 ・学習活動順序カード	◎3名の様子を見る。 ◎何をするのか説明し、4コマの挿し絵を提示し、イメージできるようにする。 ◎学習活動順序カードで学習活動の順序を提示し、見通しを持って取り組めるようにする。
	こんなとき どうしたらいいのか 考えよう		
展開	4. 4コマのふきだしの中を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・教室にいる時に地しんがきました。どうしたらいいのか考える。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・トイレの中で一人の時に地しんがきました。どうすればいいのか考える。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・外であそんでいる時に地しんがきました。どうすればいいのか考える。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・友だちや先生とはぐれてしまいました。どうすればいいのか考える。</div> ・話し合う ・練習する。	・ワークシート ・写真 ・ヒントカード ・教室での一コマの挿し絵 ・トイレでの一コマの挿し絵 ・外で遊んでいる一コマの挿し絵 ・友だちや先生とはぐれてしまった一コマの挿し絵 ・シール	◎ふきだしと挿し絵を並べ考えやすいように配慮する。 ○すすんで活動に参加しようとしているか。 ◎わかりづらい場合は、写真やヒントカードを見せる。 ○ふきだしの言葉を考えることができたか。 ○大きな声で言うことができたか。 ○友だちの発表が聞いているか。 ○がんばりシールを貼る。マークをつける。よかった点をほめる。
まとめ	5. 次時の予告を聞いておわりのあいさつをする。		◎後日に控えた避難訓練に安心して参加できるように励ます。

1. 題材名 「見てみて 聞いて」

2. 題材について

○児童観

本学級では、3年女子1名の児童が在籍している。他者とのかかわりについては、仲のいい友だちとかかわり合って遊ぶことができる。自分の思っていることも随分と伝えられるようになってきた。友達との約束を忘れてしまうことがあり、友だち関係が不安定になることがある。また、不安になったり、集中がきれたりすると衣服を脱いだり着たり繰り返す行動や、ティッシュを小さく丸めて人には見えないようにいろいろな場所に隠すといった行動も見られる。

○題材観

児童の実態を日常の行動観察や学習場面での観察をもとに、学習指導要領自立活動の6区分26項目によるチェックをすると、特に、「心理的な安定」「コミュニケーション」に関する項目に困難を示しているように思われる。友だちとの遊びの中でも順番を待ったり、約束ごとを守る場面がある。いやになったらやめるのではなく、楽しく最後まで参加できるスキルを身に付けるために、この題材を設定した。

○指導観

身近な人との活動を通して、ルールや約束を理解させる。課題に取り組む際の、はじめのあいさつや、机や椅子の準備等はできるだけ児童が取り組むようにする。自ら環境を整えたり周りの人に支援を求めたりする機会を設け、人とかかわれる活動を取り入れ、相手の気持ちを理解したり接し方等のコミュニケーションスキルの獲得と向上をめざしていきたい。(一人学級なので場に応じてゲストに来てもらう)

○自立活動の区分、項目

2心理的な安定	(1)情緒の安定に関すること
6コミュニケーション	(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること

3. 児童の実態

Aさんがあまり話さなくても、周りの人たちが察して手助けしてくれることが多い。しかし、いつも同じ環境で生活はできないので、自分から話しかけたり、いろいろな人や場にも、慣れ親しむことができるように、環境設定をし練習中である。

4. 題材の目標

○人とかかわり、コミュニケーションの基礎的な態度や知識を養う。

- ・少人数でのルールのある遊びに参加し、約束の理解などに対する態度を身に付ける。
- ・身近な人とカードや言葉を用いてコミュニケーションの基礎的な能力を身に付ける。

5. 指導計画(全3時間)

- 第1次 神経衰弱のルールを知る……………1時間
- 第2次 文章カード、ワークシートの書き方……1時間
- 第3次 見てみて聞いて……………1時間 (本時)

6. 学習の展開

(1)目標

- ・すすんでゲームに参加する。
- ・ゲームを楽しみながら、相手に自分の思いを伝える。

(2)本時に関する児童の実態及び個別の目標と手立て

名 性別 学年	本時に関する実態	個別の目標	手立て
A 女3年	絵や具体物があると様子をつかみやすい。 順序立てて考えることが苦手である。	人とかかわろうとする	・見通しを持って活動できるように、活動の流れをスケジュールカードで示す。 ・自信を持って活動できるように、必要に応じてヒントカードを渡す。

(3)展開

	学習活動	準備物(教材教具)	○手立て◎支援☆評価	Aさんの様子
導入	1. はじまりのあいさつをする。 2. 本時の活動を知る。 3. めあてを確認する。	・スケジュールカード	◎元気にはじめることができる雰囲気を作る。 ○スケジュールカードで学習活動の順序を提示し、見通しを持って取り組めるようにする。	立つ姿勢がくねくねしていたり、つめを噛みながら話すことが多かった。 スケジュールカードで学習の流れを示すことで、不安が解消され、姿勢や話し方等が変わってきている。
	見て みて 聞いて			
展開	4. くまさん神経衰弱をする。 ・ゲームの準備をする。 ・ゲームをする。 ・ゲームで取ったカードを見て、くまの様子を説明する。 ・質問コーナー ・かたづけをする。 ・課題学習の準備をする。 ・聞き取りクイズに答える。 ・ワークシートをとじひもでとじる。	・くまカード ・説明のしかたヒントカード <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;">くをこ ましは まして です。い る。る</div> ・文章シート ・ワークシート ・シール	☆思い通りにカードが合わなくてもそのことを受け入れ、最後まで参加できたか。 ◎順番が待っている時に声をかける。または合図をする。 ○ヒントカードを出し、自信をもって話せるようにする。 ☆くまの様子を伝えることができたか。 ☆質問されたことを自分の言葉でこたえることができたか。 ◎困っていれば、話のどこに注目して聞けばよいかを伝える。 ◎がんばりシールを渡す。	親しい友だちとはかかわって遊ぶが、そうでない友だちとのかわりが少ない。 がまんも経験しながら、いろいろな友だちとかかわれるように、ゲームを通して少人数から練習している。 ヒントカードを使うことで、説明のしかたも定着してきて、人の前で話すことの抵抗が少なくなってきた。 ゲームの中からのお話を聞き取る練習をし、ワークシートに書いていく。かなり注目して聞けるようになった。 手先の不器用さがあるが、どんどんたまるワークシートとシールが楽しみでりぼん結びもできた。
まとめ	5. 次時の予告を聞いておわりのあいさつをする。			集中する時間がぐんと伸びてきた。 (45 分間)

1. 題材名「つかいやすくなったね」

2. 題材について

○児童観

本学級の児童は、物を収集することが好きである。そのため、机の中やロッカー、かばんの中等がすぐにいっぱいになってしまう。しかし、その収集したものを大事に扱うことや、整理整頓をして保管することが苦手である。視覚的な記憶が大変得意であり、手順カード等には、興味を示し手順にそって意欲的に取り組もうとする。

○題材観

生活面・学習面において準備や片付けは、その時間の授業や活動に大きく影響してくる。学習が元気に気持ちよく、始まり、終わることができるためにもいろいろな場を設定し、体験を積み重ねる活動を通してスキルを身に付けさせていきたいので、この題材を設定した。

○指導観

課題に取り組む際の、はじめのあいさつや、姿勢(足の位置)については毎日の取組の中でも意識しながら、児童の得意な面を生かして、課題設定や支援の仕方を考慮していきたい。

「つかいやすくなったね」では、身の回りのことに目を向け、自分のことが自分でできるスキルを身につけさせたい。整理整頓が苦手なのは、整理整頓の仕方がわからなかったり、片付ける場所が決まっていなかったり等の環境も関係してくる。環境を整え児童の課題に応じた教材教具も準備し、自分から進んでやってみようという気持ちを育てたい。また、できるようになったことを自信につなげ、次へのステップとしたい。

○自立活動の区分、項目

1健康の保持	(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。
5身体の動き	(3)日常生活に必要な基本動作に関すること。

3. 児童の実態

身の回りのことが自分でできることをめあてとしていたが、少しめあてを高め丁寧さや正確さについて練習中である。苦手なことを要求されると態度や顔に表れることにも課題があるが、自分できるようになったことはとても喜び、自信につなげることができる前向きな姿勢は、課題解決にも有効である。

4. 題材の目標

○基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことが自分でできる。

5. 指導計画(全4時間)

第1次	ふでばこすっきり……………1時間	(本時)
第2次	持ち物ののきまり……………1時間	
第3次	机の中もこんなにきれい……………1時間	
第4次	4年教室ではどうかな?……………1時間	

6. 学習の展開

(1)目標

- ・進んで、整理整頓ができる。

(2)本時に関する児童の実態及び個別の目標と手立て

名 性別 学年	本時に関する実態	個別の目標	手立て
A女4年	準備や片付け、整理整頓において手際よくすることが苦手である。また、整理整頓ができなくてもあまり気にならない。	ふでばこの中がすっきり整えられると使いやすいことに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を設定し、困難な要因を明らかにする。 ・必要なものと必要でないものについて決まりを作り、無理のない程度の課題から取り組む。

(3)展開

学習活動	準備物	○手だて◎支援☆評価	Aさんの様子
1. はじまりのあいさつをする。			
2. スケジュールボードを見て、本時の活動を知る		○スケジュールボードで確認し、活動の見通しを持たせる。	
3. めあてを確認する。			
整理整とんをしよう①			
4. 手順カードの使い方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真 ・手順カード 	○手順カードの説明をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふでばこの中に 10 本以上の、えんぴつが入っていたり、えんぴつを研いでくるのを忘れてきたりすることがよくある。
5. ふでばこの中を手順カードにそって確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふでばこ 	<ul style="list-style-type: none"> ☆手順カードを使って自分で活動できているか ◎必要なものと、必要でないものを一つ一つAさんと確認し、ミニルールを作る。 ☆必要なものと、必要でないものがわかったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手さげ袋やランドセルの中には、その日の時間割にないものが入っていることもある。
<ul style="list-style-type: none"> ・カードを見て、ふでばこの中を必要なものと、必要でないものに分ける。 ・気づいたことを発表する。 ・必要でないものは、袋に入れる。(持って帰る) 			<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなことを自分でやってみようとする姿が増えてきている。
6. 次時の予告を聞いておわりのあいさつをする。		○これなら毎日やれそうな気持ちになるように声かけをする。	

1. 題材名「やさしい気持ちになれるね」

2. 題材について

○児童観

本学級の児童は、4年生になり交友関係が広がり、休み時間に運動場に出て、友だちと活発に遊ぶことが多くなった。また、ジュニアバレーボールクラブに所属したことで、上級生とも仲良く行動する姿も見られる。交友関係が広がり良い反面、気がかりなこともある。例えば、相手を傷つけようと思って発した言葉でなくても、傷つけてしまったり、傷つけてしまったことさえ気づかない場合も考えられる。また、本児童の場合、注意をしたり、間違いを指摘したりすると、親しい友だちや教師に対して、不機嫌な態度を示す時がある。

○題材観

学校生活・社会生活において、よりよい人間関係を構築するためには、他者を意識した言動が重要である。相手を意識した「気持ちの良い挨拶」・「ていねいな話し方」・「相手に不快感を与えない聞き方」について本題材で学習し、「やさしい気持ちになれる」ためのスキルを身につけて、交友関係を更に深めさせたい。

○指導観

「やさしい気持ちになれるね」では、人とのかかわりの中で、大切なきまりごとを正しく指導することと、どんなときに、どのように接したらいいのか、場を設定しながらスキルを身につけさせたい。言葉遣いでは、相手に感じのいい印象を持ってもらえる言葉遣いができるように授業を組み立て、上手に言えたり、使えたりしているところではタイミングよく褒めていきたい。また、児童が意思表示をしたくても、どうしても言葉が出ない時などは、うなずいたり、紙に書いたりして、相手に自分の気持ちを伝える方法があることを知らせる。

日常生活を振り返る場を設定し、気持ちのいい挨拶や、ていねいな言い方、感じのいい聞き方の練習を積み重ねていけるようにする。

○自立活動の区分、項目

- 2心理的な安定 (1)情緒の安定に関すること。
- 3人間関係の形成 (3)自己の理解と行動の調整に関すること。

3. 児童の実態

気持ちが安定しているときは、にこにここととてもいい表情で人と接することができる。しかし、気持ちが不安定になると、全く人の話を聞こうとしなかったり、暑くもなく寒くもないのに、衣服の脱ぎ着を何度も繰り返したりする等の行動が見られる。

4. 題材の目標

○身近な人との信頼関係を築き、周囲の人とのかかわりを広げる。

5. 指導計画(全9時間)

- 第1次 あいさつっていいね……………1時間(本時)
- 第2次 ていねいな言い方……………4時間
- 第3次 どんな聞き方がいいかな? ……4時間

6. 学習の展開

(1) 目標

- ・気持ちの良いあいさつができる。

(2) 本時に関する児童の実態及び個別の目標と手立て

名 性別 学年	本時に関する実態	個別の目標	手立て
A女4年	積極的ではないが、小さい声で挨拶ができる。相手を意識した挨拶にはなっていない。	心のこもった挨拶をすると、お互いが優しい気持ちになれることに気付かせる。	・挨拶の必要性に気付かせる。 ・場面を設定し、場面に合った挨拶をする。

(3) 展開

学習活動	準備物	○手だて◎支援☆評価	Aさんの様子
1. はじまりのあいさつをする。		○指導者がマイナスイメージの挨拶をする。	・指導者の挨拶の違いを指摘する。
2. 本時の活動を知る。	・これまでの学習で使ったもの	○これまでの学習で使ったものを提示し、活動の見通しを持たせる。	
3. めあてを確認する。			
気持ちのいい あいさつをしよう。			
4. 気持ちのいい挨拶について考える。 ・場面に応じたあいさつを練習する。	・カード	○朝の挨拶をいろいろな言い方で役割を決めて演技をする。 ☆相手を意識した気持ちのいい挨拶ができていたか。	・恥ずかしくて、小さい声で挨拶する。 ・相手を意識した元気な声で挨拶をしようとする。
5. いろいろな挨拶の言葉があることを知る。	・シート ・カード	◎挨拶をする場面を提示する。 ☆あいさつのやくそくを みようと なった	
6. 次時の予告を聞いておわりのあいさつをする。			

❖教材教具一覧表（活用事例）


教材教具	対象	内容
タイマー（大）	一斉	目で見えていつまでやるのかを知ることができる
タイマー（小）	個人、小集団	目で見えていつまでやるのかを知ることができる
キッチンタイマー	個人、小集団	耳で聞いていつまでやるのかがわかる
ストップウォッチ	個人、一斉	自分でタイムを計る 指導者がタイムを計る
時計	一斉	目で見えていつからいつまでが確認できる
模型時計	個人	操作をしながら時計に慣れ親しむ
砂時計	個人、小集団	目で見えていつまでやるのかを知ることができる
CD	個人、小集団、一斉	始まり・終わりの合図として音楽を聴いて動くことができる
鏡	個人	自分の身体の動きを意識する
短なわとび、大なわとび	個人、小集団	一人でとび練習する、仲間と協力してとび
ホースなわとび	個人	重さがあるので体に感じやすくとべるようになる
ドッジビー	二人、小集団	軽くて持ちやすい ボールより恐怖感が少ない 仲間と楽しめる
ターザンロープ	個人	ゆれながら、感覚統合遊びを楽しむ
ペダリコ	個人	踏む運動をとおして足を鍛える
特ふうせん	小集団、一斉	風船より重くスカッシュボールより長続きできる
バランスボール	個人	ボールにのってバランス感覚を養う
トランポリン	個人	びよんびよんとびながらバランス感覚を養う
缶ポックリ、竹ポックリ	個人、小集団	竹ポックリで歩いたり走ったりして、バランス感覚を養う
手作りボウリング	小集団	運動が苦手でも簡単にできる ピンの大きさもかえられる
手作りサッカー	小集団	ダンボール箱の大きさを変えたゴールに状態に応じて蹴る、転がす
輪投げ	小集団	的をしぼって投げる練習をする 仲間と楽しめる
マジックテープ的当て	小集団	的をしぼって投げる練習をする 仲間と楽しめる 危なくない
○×クイズ右左	個人、小集団	簡単なクイズ形式で右、左の概念を理解していく
○×クイズ前後ろ	個人、小集団	簡単なクイズ形式で前、後ろの概念を理解していく
虫取り網、かご	個人、小集団、一斉	虫をさがしたり、つかまえたりして自然と慣れ親しむ





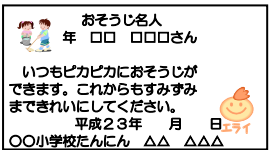
教材教具	対象	内容
ぬりえ	個人	ぬりえの活動を通して手首を柔軟にする
切りえ	個人	すきな絵をハサミで切る活動を通して手首を柔軟にする
はりえ	個人、小集団	楽しみながらのりで貼る活動を通して手のよごれの過敏さをやわらげる 協力して作品を仕上げる
おりがみ	個人	おりがみを楽しみながら手先を動かす
あやとり	個人、数名	あやとりを楽しみながら手先を動かす 友だちと楽しむ
ねんど	個人	楽しみながら手先を動かす もんだり、こねたり ねんどの感触を味わう
ブロック	個人	いろいろな組み立て方を工夫する
積み木	個人、小集団	くずれたり、くずれなかつたりを体験しながらバランス感覚を養う
カプラ	個人、小集団	もちやすい大きさなので一人でも友だちとも楽しむことができる
ままごとセット	個人、小集団	一人でも数名でもごっこ遊びが楽しめる
お医者さんセット	小集団	お医者さんのおもちゃで病院のイメージ化をする
お金、買い物	個人、小集団	遊びの中から買い物に慣れ親しむ
トランプ	小集団	簡単なルールで友だちとなかよく遊ぶ 数字に慣れ親しむ
かるた	小集団	簡単なルールで友だちとなかよく遊ぶ ひらがなやカタカナ、ことばに慣れ親しむ
本、紙芝居	個人、小集団	お話や絵の中で想像力を高める
DVD、ビデオ、テレビ	個人、小集団	実物を見たり、鮮明な動画をみて想像力を高める
コンピューター	個人、小集団	個に応じたソフトの活用をする
ビーズとおし	個人、	大・中・小のビーズとおしの活動を楽しみながら集中力を高める
ひもくぐり	個人	かた結び、ちょう結びの活動を通して靴紐が結べる
ボタンかけ、はずし	個人	ボタンかけの活動を通して衣服、給食着の着脱が早くなる
スナップボタンどめ	個人	スナップボタンのついた小物入れの開け閉めが早くなる
ファスナー開け閉め	個人	ファスナーの開け閉めの活動を通してスボン、ジャンパーの着脱が早くなる

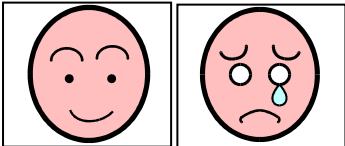

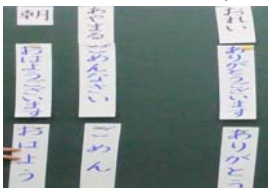

教材教具	対象	内容
机の上 机の中整理整頓のしかた ロッカー整理整頓のしかた 衣服、給食着のたたみ方 くつ、スリッパのそろえ方 トイレの使い方 給食の食べ方 はしの持ち方 はみがきのしかた ぞうきんのしぼり方 ぞうきんのかけ方 ほうきのはき方 モップのかけ方 台のふき方 掃除道具の片付け方	個人 個人 個人 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉	教科書、ノート、ふでばこのおき方がわかる 机の中の学習道具が出し入れしやすい ロッカーの中のものが出し入れしやすい 自分の服が、たためる 自分のくつも、みんなが使うスリッパも気持ちよくそろえることができる 気持ちよくトイレを使うことができる 時間を意識しながら三角食べができる 正しいはしのもち方を意識することができる 鏡を見て確認しながらていねいにはみがきをする お手本を見ることでたて絞りがわかる 手順にそって拭くことで、拭き方がわかる 手順にそってはくことで、はき方がわかる 手順にそってかけることで、かけ方がわかる テープにそって拭くことで、拭き方がわかる お手本を見ることで片付け方がわかる
姿勢のお手本カード 表情顔カード 絵や写真カード 鉛筆けずり 学習・活動予定カード 学習手順カード 変更カード がんばりカード シール、スタンプ ワークシート	個人 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人、小集団、一斉 個人 個人 個人	自分の身体を支えることができる(すわる 立つ) 顔の表情で相手の気持ちに気づく いろいろな場で手がかりとなる 手動のものをを使い、手首を回す練習をする 一日の学習・活動の流れがわかる 何を、どのように、いつまでするのかわかる 予定が変わることが事前にすることができる ほめられたところが次への意欲につながる ごほうびが集まり自信につながる 児童生徒の課題に応じた、質と量で意欲的に取り組むことができる
仕切り 安心する場所 癒しの音楽 温度、湿度設定 登下校の歩き方 登下校の自転車の乗り方 バス・電車の乗り方 避難のしかた (火災) (地震)	個人 個人 個人 個人 個人 個人 個人、小集団、一斉 個人	他のことに気を取られず集中することができる 気持ちを落ち着かせ、リラックスできる場所 気持ちを落ち着かせ心を癒すことができる イライラする気持ちが落ち着く 交通ルールを守り安全に気をつける 交通ルールを守り安全に気をつける 公共の乗り物でのマナーを知る あわてず指導者の誘導にそって素早く避難できる あわてず指導者の誘導にそって素早く避難できる

課題別 具体的指導内容(自立活動の区分、項目)事例 ※学習指導要領自立活動編より抜粋
 課題解決のために示しているツールは、一例です。

課題	具体的指導内容	自立活動の区分、項目
特定の食物に強いこだわりを示す。 	○困難な要因を明らかにした上で、無理の無い程度の課題から取り組む。	1－(1)
特定の衣服に強いこだわりを示す。 	○困難な要因を明らかにした上で、無理の無い程度の課題から取り組む。	1－(1)
一つ一つの行動に時間がかかる。 	○困難な要因を明らかにした上で、無理の無い程度の課題から取り組む。	1－(1)
整理整頓が苦手。 	○困難な要因を明らかにした上で、無理の無い程度の課題から取り組む。	1－(1)
生活のリズムや生活習慣が身につけていない。 	○日課に即した日常の生活の中で指導をする。 ○対象の児童生徒の1日の生活状況を把握する。 ○家庭等との密接な連携の下に指導を行う。 ○体調に関する情報も入手しておく。	1－(1)

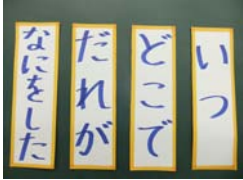



課題	具体的指導内容	自立活動の区分、項目
<p>心理的に緊張したり、不安になったりする状態が継続すると、集団参加が難しくなることがある。</p> 	<p>○情緒の安定を図る。必要に応じて環境の改善を図る。</p>	2- (1)
<p>自分の行動を注意されたとき、反発して興奮を静められなくなることがある。</p> 	<p>○落ち着かせる場所に移動して、興奮を静める。 ○いったんその場を離れて深呼吸するなどの方法を教え実際に行うことができるように指導する。</p>	2- (1)
<p>自らの失敗に対して感情的になり、情緒が不安定になることがある。自信を失っている場合もある。</p> 	<p>○本人が得意なことを生かして課題をやり遂げる指導をする。 ○成功したことを褒めることで自信を持たせたり、自分のよさに気づくことができるようにしたりする。</p>	2- (1)
<p>家庭などでは、ほとんど支障なく会話ができるものの特定の場所や状況では、それができない。</p> 	<p>○本人が安心して参加できる集団構成や活動内容等の工夫をする。 ○教師が付き添って適切な援助を行う。 ○情緒の安定を図りながら、それぞれの場面に対応できるようにする。</p>	2- (2)
<p>予告なしに行われる避難訓練や急な予定の変更などに対応することができない。</p> 	<p>○予想される事態や状況を予告する。 ○事前に体験できる機会を設定する。</p>	2- (2)

課題	具体的指導内容	自立活動の区分、項目
<p>計算の仕方などを覚えることが他の人と比較して時間がかかるなどに気づいても、それを自分自身の努力不足によるものと思いつている場合がある。</p> 	<p>○自分の得意な面と不得意な面を知り、その得意な面を活用することで、困難を克服することができるという経験をする。(成功体験)</p>	2- (3)
<p>他者とのかかわりをもととするが、その方法が十分に身につけていない。</p> 	<p>○教師との安定した関係を形成する。 ○やりとりの方法を少しずつ増やしていく。 ○言葉だけでなく、具体物や視覚的な情報を加えて分かりやすくする。</p>	3- (1)
<p>言葉や表情、身振りなどを総合的に判断して相手の心の状態を読み取り、それに応じて行動することが困難な場合がある。</p> 	<p>○生活の様々な場面を想定し、そこでのあいての言葉や表情から、立場や考えを推測するような指導を通して、相手とかかわる際の具体的な方法を身に付ける。</p>	3- (2)
<p>状況にそぐわない行動をすることがあるため友達に受け入れられず、集団参加が難しい場合がある。</p> 	<p>○ロールプレイのように、できるだけ具体的な状況を設定して指導する。</p>	3- (3)
<p>経験が少ないことや、課題に取り組んでもできなかった経験などから、自己に肯定的な感情をもつことができない状態に陥っている場合がある。</p> 	<p>○早期から成就感を味わうことができる活動を設定する。 ○自己を肯定的にとらえる感情を高められるような指導内容を検討する。</p>	3- (3)



課題	具体的指導内容	自立活動の区分、項目
<p>友達の行動に対して適切に応じることができないことがある。</p> 	<p>○体験的な活動を通して自分の得意なことや不得意なことの理解を促したり、他者の意図や感情を考え、それへの対応方法を身に付けたりする指導を関連付けて行う。</p>	3 - (3)
<p>特定の光や音などにより混乱し、行動の調整が難しくなることがある。</p> 	<p>○音や光に対して少しずつ慣れたり、それらの刺激を避けたりすることができるように、感覚や認知の特性への対応に関する内容も関連付けて具体的な指導内容を設定する。</p>	3 - (3)
<p>友達との会話の背景や経過を類推することが難しく、そのために集団に積極的に参加できないことがある。</p> 	<p>○日常的によく使われる友達同士の言い回しや分からないときの尋ね方などをあらかじめ少人数の集団の中で学習しておく。</p>	3 - (4)
<p>遊びの説明を聞き漏らしたり、最後まで聞かずに遊び始めたりするためにルールを理解していない場合がある。</p> <div data-bbox="260 1355 491 1574" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">こおりおにのルール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. じゃんけんをして 裏けたら おにになる。 2. おにに タッチされたら こおりになる。 3. たずねが タッチしてくれたら いきかえる。 4. おにに みんながつかまったら こうたいする。 5. つかまったら みんなで じゃんけんをして 裏けたひとが おにになる。 </div>	<p>○ルールを少しずつ段階的に理解できるように指導したりロールプレイによって適切な行動を具体的に学習したりする。</p> <p>○遊びへの参加方法が分からないときの不安を静める方法を学習する。</p>	3 - (4)
<p>聴覚の過敏さのため特定の音に、また、触覚の過敏さのため身体接触や衣服の材質に強く不快感を抱くことが見られる。</p> 	<p>○不快である音や感触などを自ら避けたり、児童生徒の状態に応じて、それらに少しずつ慣れていったりするように指導する。</p>	4 - (2)

課題	具体的指導内容	自立活動の区分、項目
<p>言葉や数の学習で示す困難</p> 	<p>○個々の認知の特性に応じた指導方法を工夫する。</p>	<p>4 - (2)</p>
<p>話を聴いて理解することが困難</p> 	<p>○言葉の記憶力が弱いことや話し声から特定の音韻を聞き取ることなどが難しいことがあることを考慮する。</p> <p>○得意な方法を積極的に活用する。</p>	<p>4 - (2)</p>
<p>本を読むことが苦手</p> 	<p>○読んでいる箇所を目で追うことができないことがある。</p> <p>○得意な方法を積極的に活用する。</p>	<p>4 - (2)</p>
<p>漢字や図形を正しく書くことができない。</p> 	<p>○位置関係の認知が困難なことがある。</p> <p>○得意な方法を積極的に活用する。</p>	<p>4 - (2)</p>
<p>左右の概念を理解することが困難であるため、左右の概念を含んだ指示や説明を理解することがうまくいかず、学習を進めていくことが困難になる場合がある。</p> 	<p>○様々な場面で、見たり触ったりする体験的な活動と「左」「右」という位置や方向を示す言葉を関連付けながら指導して、基礎的な概念の形成を図る。</p>	<p>4 - (5)</p>

課題	具体的指導内容	自立活動の区分、項目
<p>身体を常に動かしている傾向があり、自分でも気づかない。</p> 	<p>○身体を動かすことに関する指導だけでなく、姿勢を整えやすいような机やいすを使用する。</p> <p>○姿勢保持のチェックポイントを自分で確認できるような指導を行うことが有効な場合がある。</p>	5－（１）
<p>一連の作業において最後まで注意の集中が続かないことがある。</p> 	<p>○作業工程を分割し、一つの工程に短期間集中することから始めて、徐々に作業に集中できる時間を長くする。</p>	5－（５）
<p>手足を協調させて動かすことや微細な運動をすることに困難が見られることがある。</p> 	<p>○手足の簡単な動きから始めて、段階的に高度な動きを指導する。</p> <p>○興味・関心をもっていることを生かしながら、道具等を使って手指を動かす体験を積み重ねる。</p>	5－（５）
<p>自分のやり方にこだわりがあったり、手足を協調させてスムーズに動かしたりすることが難しい場合がある。</p> 	<p>○一つの作業についていろいろな方法を経験させる。</p> <p>○作業のやり方へのこだわりを和らげる。</p> <p>○主体的に指導者の示す手本を模倣使用とする気持ちを育てる。（指導者との良好な人間関係を形成）</p>	5－（５）
<p>持ち主の了解を得ないで、物を使ったり相手が使っているものを無理に手に入れようとしたりすることがある。</p> 	<p>○できるだけ望ましい方法で意思や要求などが伝わる経験を積み重ねる。</p>	6－（１）

課題	具体的指導内容	自立活動の 区分、項目
<p>他者の意図を理解したり、自分の考えを相手に正しく伝えたりすることが難しい場合がある。</p> 	<p>○話す人の方向を見たり、はなしを聞く態度を形成したりなど、他の人とのかかわりやコミュニケーションの基礎に関する指導を行う。</p> <p>○話し言葉や絵、記号、文字などを活用できるようにする。</p>	6－(2)
<p>文字や文章を読んで理解することに極端な困難を示す場合がある。</p> 	<p>○聞いて理解する力を伸ばしつつ、呼んで理解する力の形成も図る。</p> <p>○コンピュータの活用。</p>	6－(3)
<p>言葉でのコミュニケーションが困難な場合がある。</p> 	<p>○自分の意思を適切に表し、相手に基本的な要求を伝えられるように身振りなどを身に付ける。</p> <p>○話し言葉を補うための機器等の活用。</p>	6－(4)
<p>話の内容を記憶して前後関係を比較したり類推したりすることが困難なため、会話の内容や状況に応じた受け答えをすることができない場合がある。</p> 	<p>○自分で内容をまとめながら聞く能力を高める。</p> <p>○分からないときに聞き返す方法や相手の表情にも注目する態度を身に付けるなどして、そのときに応じたコミュニケーションが展開できるようにする。</p>	6－(5)


支援カード

 あいさつ名人 

年 □□ □□□さん

気持ちのいいあいさつができます。これからも元気な声をきかせてください。


平成23年 月 日

〇〇小学校たんにん △△ △△△ 

あいさつがんばり表
にシールを貼る

支援カード
がんばったことが何こか(約束して)、たまったら
名人となる。ほめられることが増え、次への意欲
づけにつながるごほうび的なもの


※シールを貼ることでポイントがたまっていくことも視覚で確かめることができる

 おそうじ名人


年 □□ □□□さん

いつもピカピカにおそうじができます。これからもすみずみまできれいにしてください。

平成23年 月 日

〇〇小学校たんにん △△ △△△ 


おそうじがんばり表に
シールを貼る

 おたすけ名人

年 □□ □□□さん

こまっている人がいるとそっとやさしくたすけてくれてありがとう。これからもよろしく！！

平成23年 月 日

〇〇小学校たんにん △△ △△△ 

おたすけマン表に
シールを貼る

手順表

ぎゅうにゅうパックの ひろげかた



1 ぎゅうにゅうパックの みみを うえにあげる



2 おやゆびを なかに ぐっといれる



3 いりぐちを ひろげる



4 みずで あらう



5 まんなかの のりしろを はずす



6 ゆっくり ていねいに ひろげる



7 ほす

ぞうきんの しぼりかた

1. ぞうきんを あらう



2. 2つにおる



3. もう1かい 2つにおる



4. たてに ねじるように しぼる



5. 水が でなくなるまで しぼる

※ ゆかに みずが とびちったときは ふきましょう。



だいの ふきかた

1



①から②へ→のおおりにすすむ

2



②から③へ↓のおおりにすすむ

3



③から④へ←のおおりにすすむ

4



④から⑤へ↓のおおりにすすむ

5



⑤から⑥へ→のおおりにすすんで おわり

きゅうしょくぎの たたみかた

1. かたに てをいれる



2. かたを そろえる



3. そでを あわせる



4. そでを たたむ



5. みぎてのところから
一かい下へたたむ



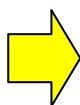
6. もう一かい 下へたたむ



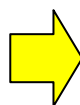
7. のこりのぶぶんを たたむ



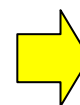
ぼうしをかさねる



ふくろにいれる



ひもをしめる



つるす



なわとびの むすびかた

1. もちてを あわせる



2. あわせたまま はんぶんにしてもつ



3. ばつをつくるように なわをかさね
まんなかに あなをつくる



4. あなのなかに かたほうのさきを
いれて ひっぱる



5. できあがり



やすみじかんの あそび

はれ  そとで げんきにあそびましょう。

- おにごっこ
 - ・こおりおに
 - ・いろつきおに
 - ・けいどろ
- ブランコ
- なわとび
- いちりんしゃ
- ボールあそび
 - ・やきゅう
 - ・ドッジボール
 - ・キックベースボール

あめ  きょうしつで しずかにあそびましょう。

- ゲーム
 - ・トランプ
 - ・かるた
 - ・オセロ
 - ・しょうぎ
- おりがみ
- おえかき
- ねんど
- どくしょ
- ◎コンピュータ使用（該当学年）
- ◎たいいくかん使用（該当学年）

じしんが おきたら



あわてない

ぼうさいずきを かぶる

ゆれが おさまるまで つくえ
のしたで じっとする

せんせいの いうことを きく



ⓐ さない

ⓑ しらない

ⓒ やべらない

ⓓ どらない



ゆれがおさまったら せんせいの
いうとおりに にげる

そとに でたら はしる

あんぜんな ところについたら
すわる

カード

運動

このカードは、スケジュール表や手順カード等作成時に、活用できます。



わなげ



フラフープ



まとあて



ボールプール



足こぎ自動車



ドッジビー



トランポリン



なわとび



竹ポックリ



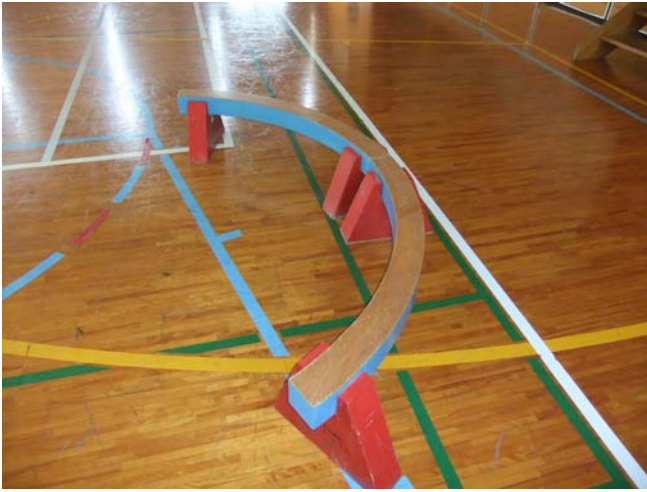
ピットタンコ



バランスボール



ペダリコ



平均台



ターザンロープ



ティーボール



タイヤ跳び



ジャングルジム

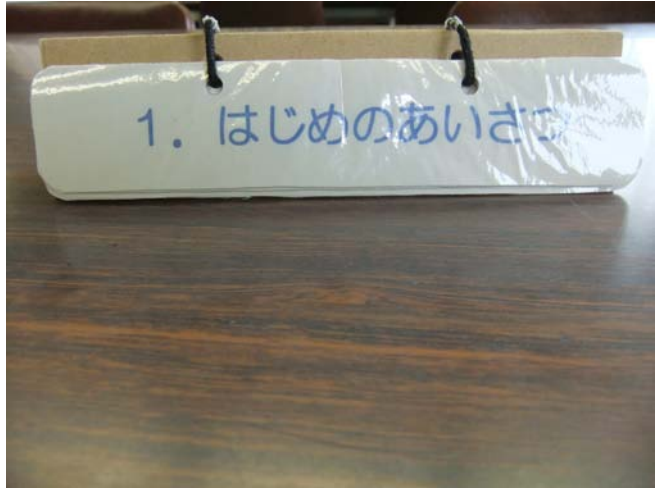


すべり台

学習



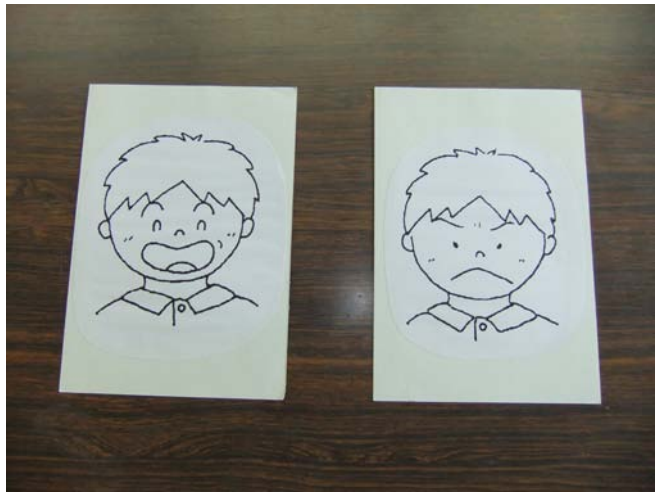
学習準備



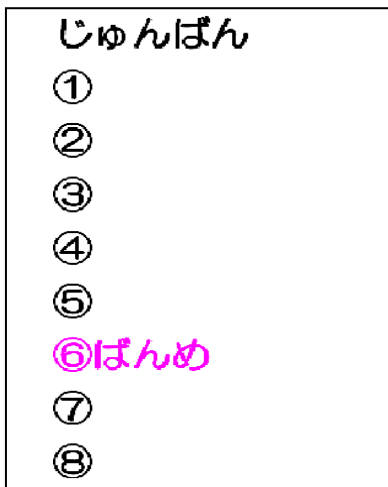
学習手順カード



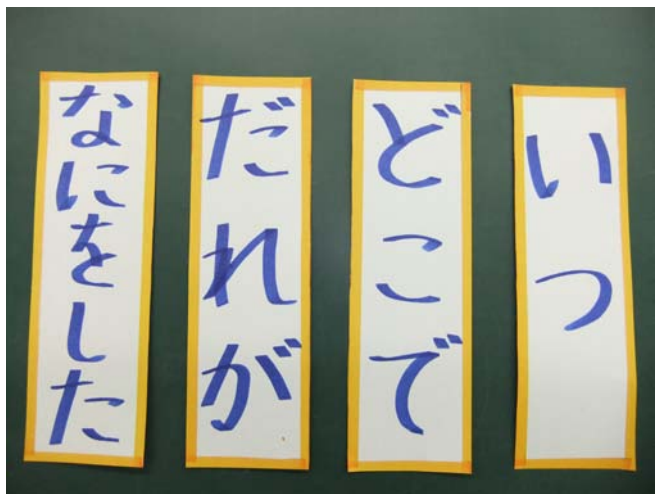
1行読みシート



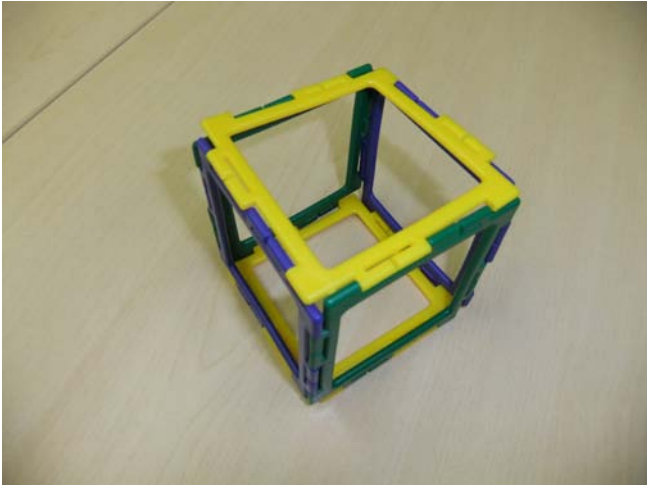
表情顔カード



じゅんばんカード



お話のじゅんばん



ポリドロン



手動式鉛筆けずり



タッチパネル



コンピュータ



水泳手順表



おうえんシール



ついたて



せいりせいとん



意思カード



サインカード



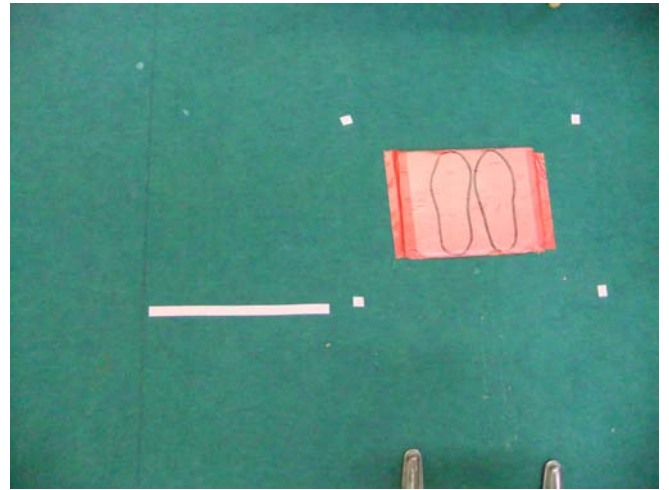
わくわくプリント



漢字カード



足型シート①



発表の立ち位置



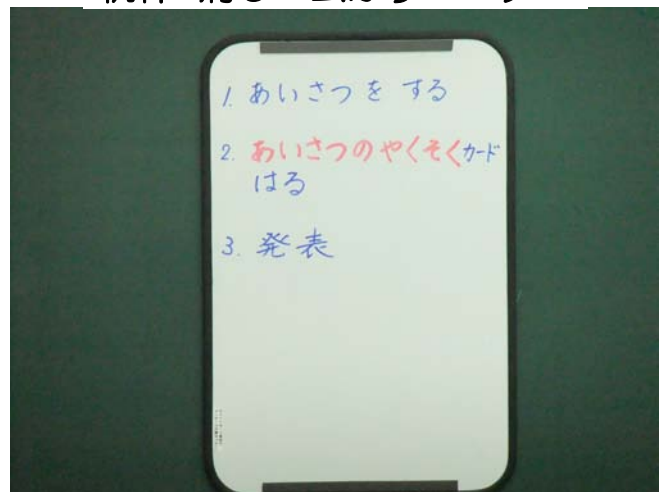
足型シート②



机枠・消しゴムかすコーナー



机の中用のかご



スケジュールボード



ミニプリント



時間割りボード



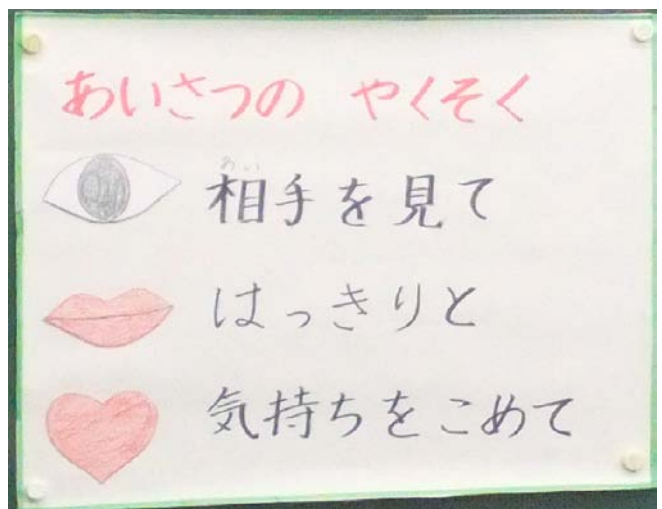
手さげの中の準備物手順カード



ふでばこの中の準備物手順カード



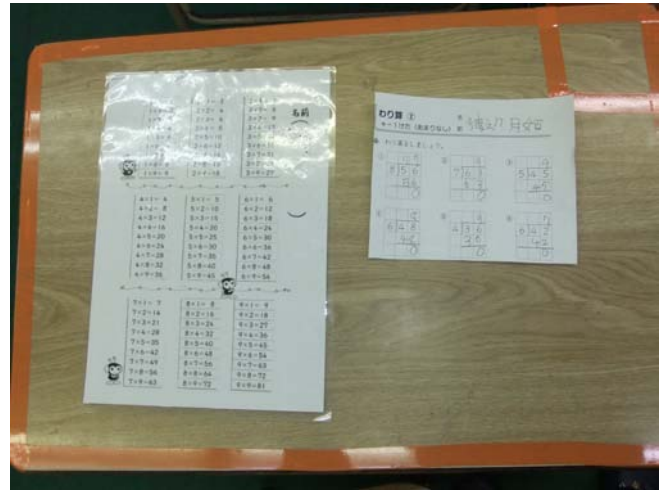
発表ボード



あいさつのやくそく



漢字神経衰弱ゲーム



かけ算お助けシート



タイマー (小)



タイマー (大)



模型時計



時計



ストップウォッチ



CD ラジオカセット

生活・遊び



ボタンのかけはずし



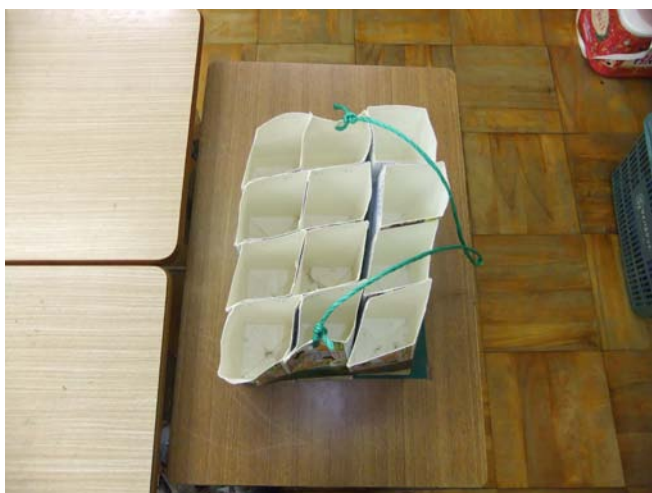
スナップボタンとめはずし



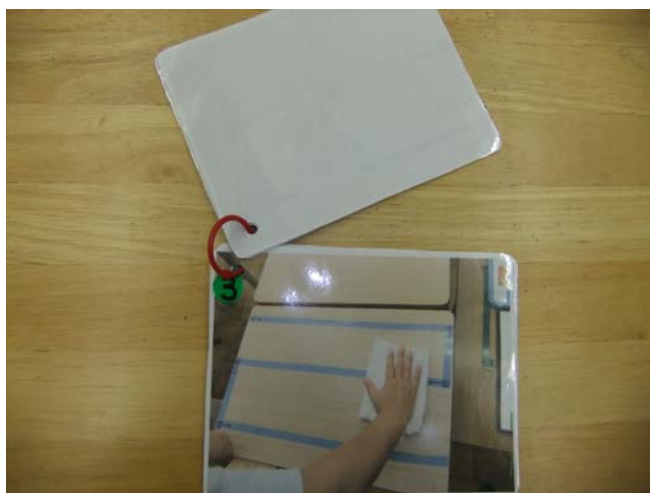
ファスナーのあけしめ



かがみ



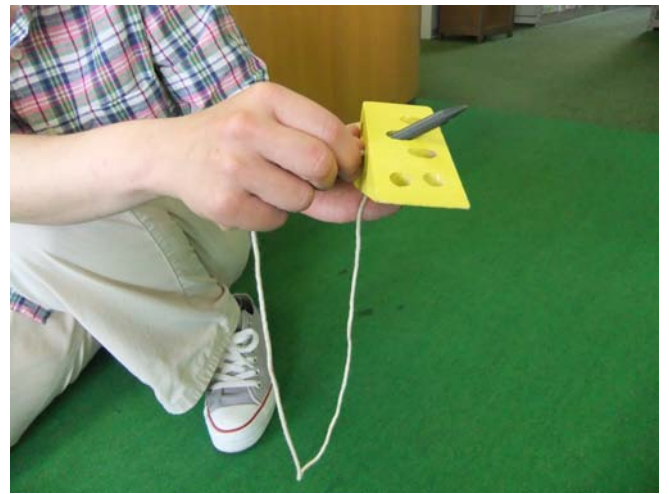
草引き (12本用)



だいふき手順カード



くつの左右



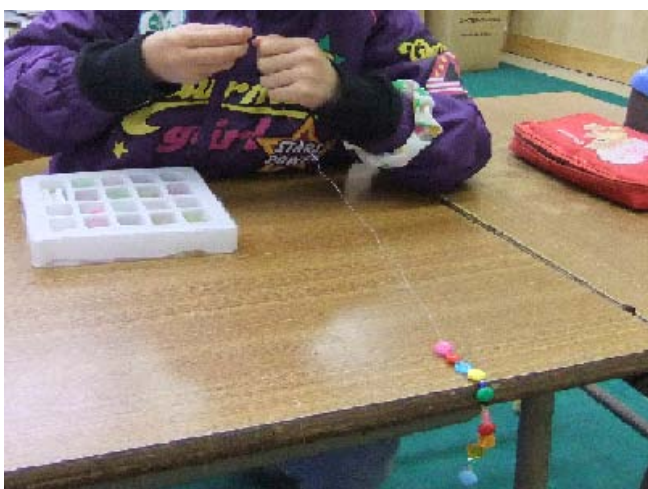
あなたおし



おりがみ



ぬりえ



ビーズとおし



ひもくぐり



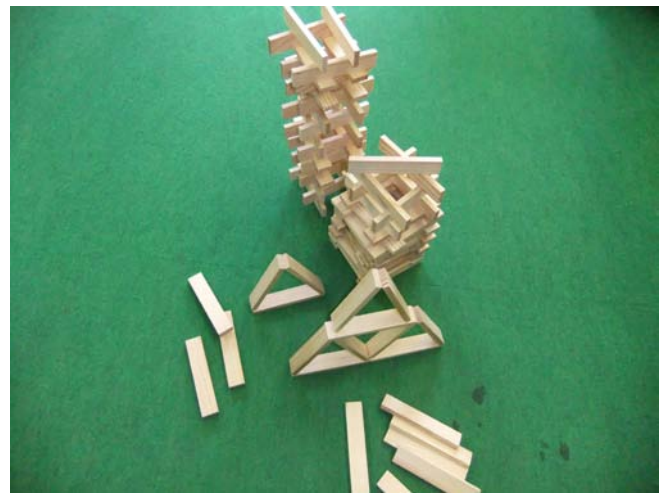
かるた



トランプ



ドミノ



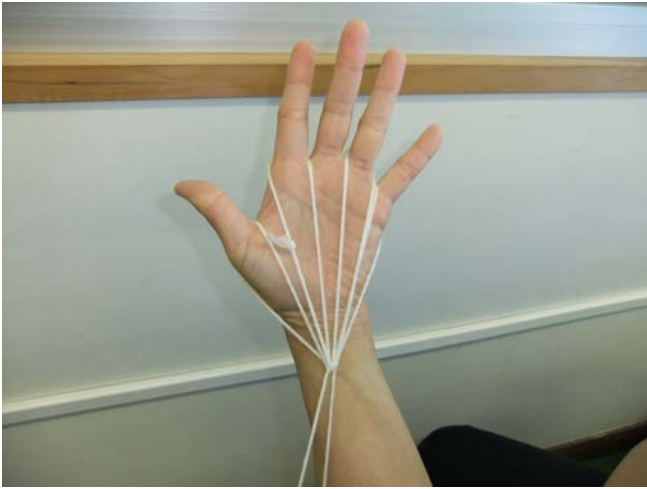
カプラ



ままごとセット



おいしゃさんセット



あやとり



ねんど



しんけいすいじゃく



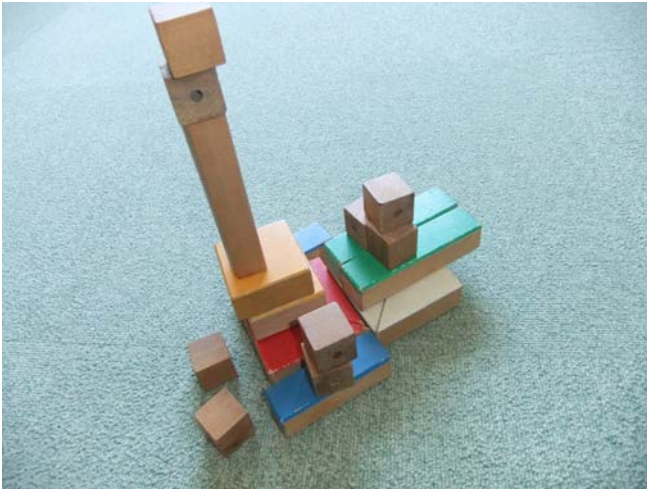
オーボール



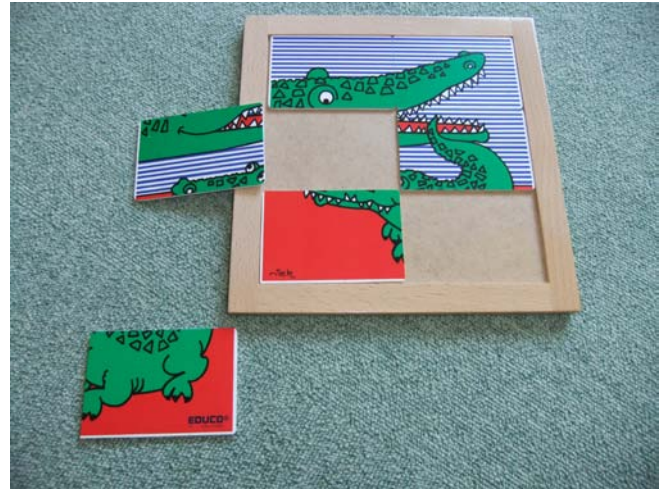
わりばしでっぽう



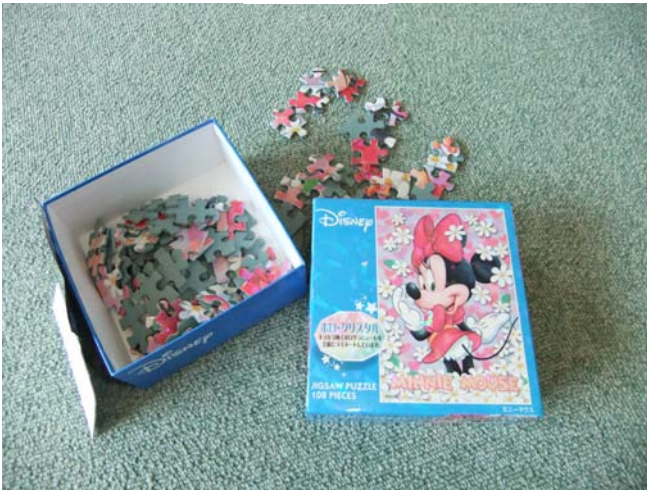
紙ずもう



積みき



パズル



ジグソーパズル



ことばポケット



ブロック



オセロ

学校内での視覚支援



階段 算数 位の学習



家庭科室 調理器具名



児童玄関



縦割り班での活動



トイレ



遊びのルール

じゃんけん

さいしょは グー みんなでグーをだす

じゃんけんぽん

パー と グー	では	パーの勝ち
グー と チョキ	では	グーの勝ち
チョキ と パー	では	チョキの勝ち

あいこでしょ

パー	と	パー
グー	と	グー
チョキ	と	チョキ

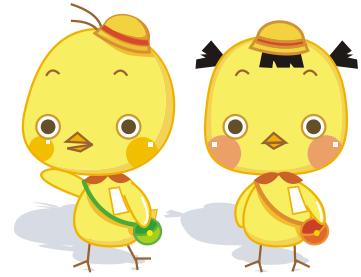


こおりおに

1. じゃんけんをして まけたひとが おにになる。
2. おにに タッチされたら こおりになる。
3. たすけが タッチしてくれたら いきかえる。
4. おにに みんながつかまったら こうたいする。
5. つかまった みんなで じゃんけんをして まけたひとが おにになる。



たかおに

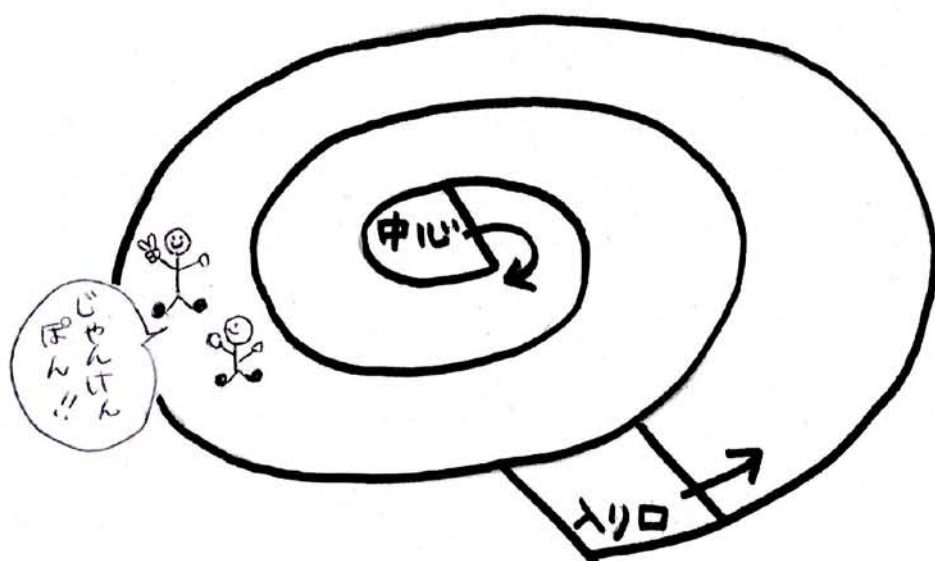


1. じゃんけんをして まけたひとが おにになる。
2. はじめの あいずで ほかのひとは ちかくの **たかい** **ところに** のぼる。
3. おには じぶんより ひくいところにいるひとは タッチできるが たかいところにいるひとは タッチできない。
4. タッチされたひとは すわってまつ。
5. おにより たかいところにいるひとは おにが **10かぞえおわるまでに** ほかのばしょに うつる。
6. はんそくしたひとも おにと こうたいする。

かたつむり(うずまきじゃんけん)



1. 地面うずまきをかく
じめん
2. 2チームに分かれる(中心と入り口)
わ ちゅうしん い ぐち
3. 中心チームは 入り口にむかって走る
ちゅうしん い ぐち はし
4. 入り口チームは中心にむかって走る
い ぐち ちゅうしん はし
5. 一人ずつスタートし、であったところで じゃんけんをして勝った人は どんどん進む
ひとり か ひと すす
6. 負けたチームは つぎの人がすばやく 出発し
ま ひと じぶん うし
負けた人は 自分のチームの一ばん後ろにならぶ
7. あいての じんちに 早く着いたチームの勝ち
はや つ か



紙ずもう

1. あつ紙がみや 画用紙がようしでおすもうさんつくを作る
2. はこや おかしのかんのふたなどで土俵どひょうをつく
3. 土俵どひょうのうえに おすもうさんとくを取り組ませる
4. たおれたり、土俵どひょうから出たりしたら負けまになる



個別の指導計画

個別の指導計画

氏名・学年		記入日	年月日		記入者	
			年	月		日
長期目標		短期目標				
本人の願い						
保護者の願い						
担任の願い						
	児童生徒の実態(課題)	背景	自立活動 区分、項目	手だて	場面環境	評価
学習						
生活						
その他						

個別の指導計画 記入例

個別の指導計画		記入日	年月日	記入者
氏名・学年				
長期目標	長期目標は、1年後こうなっているだろうという姿をイメージして立てましょう。	短期目標	短期目標は、かなり具体的に、学期や、月、単元終了までなど短いつまみで立てる目標です。	
本人の願い				
保護者の願い				
担任の願い				
	児童生徒の実態 (課題)	背景	手だて	評価
学習	児童生徒のつまずきや苦手な面に目がいきがちですが、得意な面に目を向けてみましょう。	様々な状況の背景には、「授業が分からない・・・」「友達と・・・」「家庭で・・・」など必ず理由があります。		指導目標に対応した評価をしましょう。客観的な評価をしましょう。
生活		特別支援学校学習指導要領 自立活動編 参照	指導する場面 どの教科？ どの活動？ どのような場面？	
その他			指導の手立てとは、短期目標を達成するために教師が行う指導や支援の方法を記述したものです。	